

# 群馬県国際理解教育研究会だより

群馬県国際理解教育研究会 発行責任者 会長 坂本 浩之

2021年(令和3年)



令和3年11月29日発行

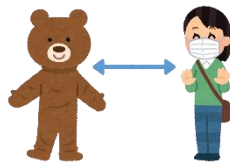
## 「帰国教師実践報告会・在外教育施設派遣個別相談会」

**令**和3年度帰国教師実践報告会・在外教育施設派遣個別相談会が11月20日(土)に、群馬県生涯学習センターにて行われました。群馬県内のコロナの状況がだいぶ落ち着いてきたこともあり、久しぶりに群県らしい活動が再開されたように思います。

今回は、今年の3月に帰国された1名の先生による現地での教育実践報告会と、派遣に興味関心のある先生方向けの個別相談会を行いました。国際情勢がこのような状況の中、海外の子ども達のために教育活動を行いたいと感じていらっしゃる先生方がたくさん参加してくださり、大盛況のうちに終わりました。



ソーシャルディスタンスを保った中での開催



坂本会長による挨拶

### 帰国教師実践報告会



帰国教師実践報告会では、ドイツ・ハンブルク日本人が校に派遣されていた井上晋太郎先生(現 渋川市立子持中学校)が実践報告をしてくださいました。

井上先生は2017年に渡独されましたが、派遣期間中にコロナ禍の状況下になり、ロックダウン中はMicrosoft Teamsを活用しながら授業を行っていたというお話も伺えました。

ハンブルク日本人学校は1981年に創立した学校で、小学部44名、中学部13名、幼稚部19名、総計76名の小規模校です。日本の学習指導要領を基本とし、ドイツ語、英会話など独自の科目も設定し、日独の年中行事と学校行事を取り入れた教育活動を実施しています。

井上先生は現地で中学部の英語を担当されておりました。ドイツ語を使った現地の人々との交流も大切ですが、言葉に詰まったときにそれを補完しコミュニケーションを持続することができるのが英語であること、英語を習得することで世界のあらゆる人々とコミュニケーションを取ることができることをお話してくださいました。



卒業アルバムを中心とした思い出の品々



【ハンブルク日本人学校】井上晋太郎先生

## 日本人学校の紹介コーナーには多くの人が興味津々！



休憩時間にはたくさんの方が日本人学校の紹介コーナーに集まりました。簡単に海外旅行に行けない昨今ですが、これを見ているだけで現地に行った気分になれますね！

## 個別相談会では…



後半に行われた個別相談会では、ブースに分かれて来場者のニーズに合った相談をうかがいました。渡航状況や現地での生活、学校での様子などさまざまな質問がありました。来場された先生方の疑問や不安の軽減に少しでも繋がったようで、みなさん笑顔でお帰りになりました。



## 山口先生、井上先生、お帰りなさい！

今年3月に帰国された山口翔先生（日本メキシコ学院）と井上晋太郎先生（ハンブルク日本人学校）に坂本会長より花束の贈呈を行いました。

現地での経験を群馬県の子どものためにぜひ生かしていきましょう！



山口翔先生（左）井上晋太郎先生（右）